



# 2024年12月期第3四半期 決算補足説明資料

株式会社イトーキ（東証プライム:7972）

2024年11月5日



## 目次

1. 第3四半期 連結業績
2. セグメント別 業績
3. 2024年12月期 連結業績予想

A photograph of a modern office interior. In the foreground, there is a long, light-colored wooden counter with a dark metal handrail. To the right, a staircase with light-colored steps and a wooden wall on the side leads upwards. The background shows a bright, open-plan office space with tables, chairs, and large windows. The ceiling is white with recessed lighting. The overall atmosphere is clean, bright, and professional.

# 1. 第3四半期 連結業績

## 第3四半期累計 過去最高業績を更新！

売上高1,021億円（前年同期比+5.4%）、営業利益78億円（前年同期比+8.7%）

### ワークプレイス事業

- ・ ハイブリッドな新しい働き方にあわせてリニューアル案件やオフィス移転などを中心に**売上高は好調**に推移
- ・ 賃上げ・専門人財の採用やDX推進のためのIT基盤強化等の戦略的な支出の増加はあるものの、増収効果により、営業利益は**増益**

### 設備機器・パブリック事業

- ・ 研究施設向け設備における需要が好調に推移したものの、前年同期に好調だった博物館、美術館の展示ケース等の公共施設向け設備等における想定内での需要反動減により、**減収**
- ・ 博物館、美術館の展示ケース等の公共施設向け設備等の想定内の減収影響はあるものの、研究施設向け設備等の増収効果及び販管費の抑制により、営業利益は**前年同期並み**

# 第3四半期 連結業績

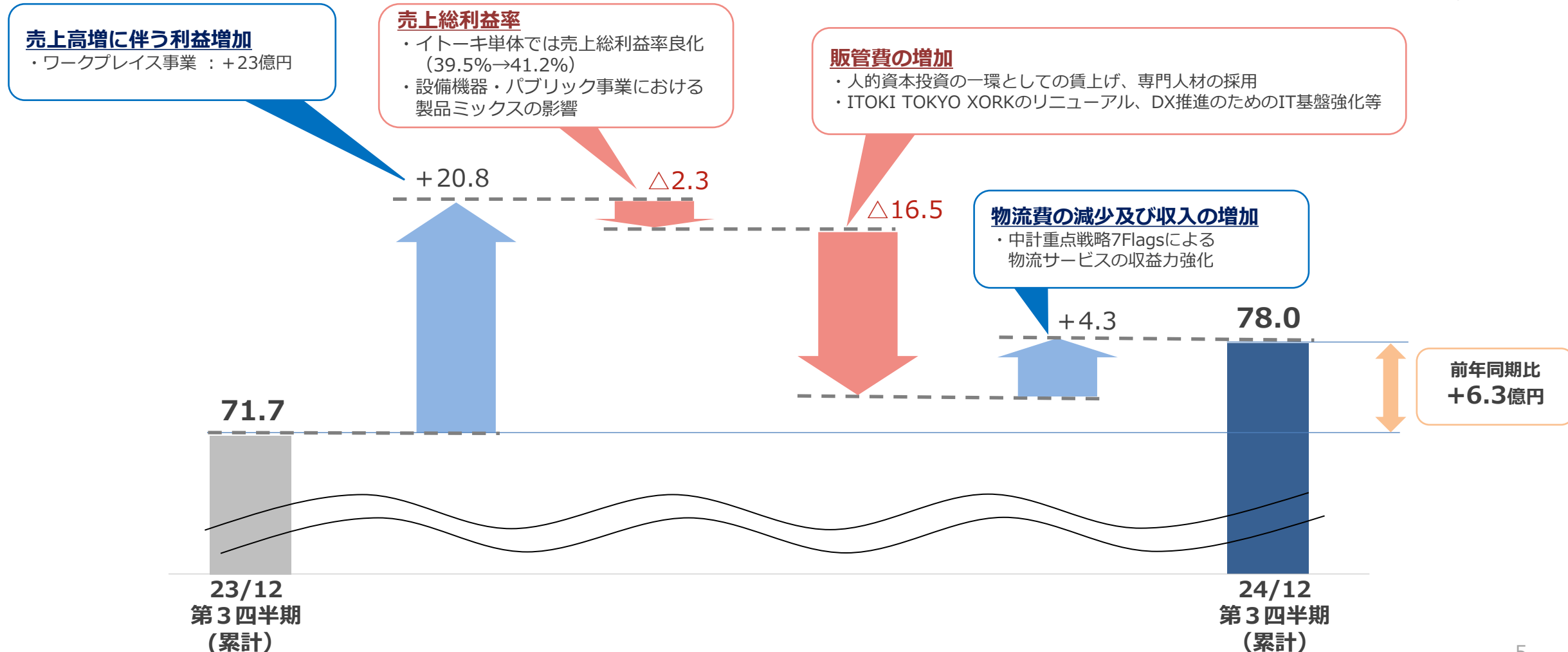
2024年1月1日～2024年9月30日

単位：億円	23/12 第3四半期		24/12 第3四半期		増減		通期予想	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増加率	金額	進捗率
売上高	968	—	1,021	—	+52	+5.4%	1,375	74.3%
売上原価	586	60.6%	620	60.8%	+34	+5.8%	—	—
売上総利益	382	39.4%	400	39.2%	+18	+4.8%	—	—
販管費	310	32.0%	322	31.6%	+12	+3.9%	—	—
営業利益	71	7.4%	78	7.6%	+6	+8.7%	100	78.1%
経常利益	73	7.6%	78	7.6%	+4	+6.1%	100	78.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	49	5.1%	58	5.7%	+8	+18.2%	70	82.9%

# 営業利益の増減要因（前年同期比分析）

中計重点戦略7Flagsによる売上高増や物流費の減少により、販管費増を吸収し、増益

(単位：億円)





## 2. セグメント別 業績

## ■ ワークプレイス事業

- ・ ハイブリッドな新しい働き方に合わせたリニューアル案件やオフィス移転などを中心に売上高は好調に推移
- ・ 賃上げ・専門人財の採用やDX推進のためのIT基盤強化等の戦略的な支出の増加はあるものの、増収効果により、営業利益は増益

## ■ 設備機器・パブリック事業

- ・ 研究施設向け設備における需要が好調に推移したものの、前年同期に好調だった博物館、美術館の展示ケース等の公共施設向け設備等における想定内での需要反動減により、減収
- ・ 博物館、美術館の展示ケース等の公共施設向け設備等の想定内の減収影響はあるものの、研究施設向け設備等の増収効果及び販管費の抑制により、前年同期並み

## ■ その他

- ・ IT・シェアリング事業のセグメント変更に伴う会計方針の変更、連結子会社の減益

2024年1月1日～2024年9月30日

単位：億円	23/12 第3四半期	24/12 第3四半期	増減		
			金額	増加率	
ワークプレイス事業	売上高	704	764	+59	+8.5%
	営業利益	54	62	+7	+14.3%
	〔営業利益率〕	〔7.7%〕	〔8.1%〕	—	〔+0.4pts〕
設備機器・パブリック事業	売上高	251	244	△7	△3.0%
	営業利益	14	14	+0	+1.5%
	〔営業利益率〕	〔5.6%〕	〔5.8%〕	—	〔+0.2pts〕
その他	売上高	11	12	+0	+3.6%
	営業利益	3	1	△1	△53.6%



A modern office interior featuring a long, light-colored wooden counter in the foreground. To the right, a set of stairs with a light-colored carpet leads upwards. The background shows a bright, open-plan office space with large windows and indoor plants. The ceiling is white with recessed lighting.

### 3. 2024年12月期 連結業績予想

# 2024年12月期 連結業績予想

- ・ 中期経営計画の初年度として、重点戦略：7Flagsを実践することにより、連結売上高は、+3.4%（ワークプレイス+5.0%、設備機器・パブリック+0.4%）を見込む
- ・ 連結営業利益は、100億円、+17.3%の増益を見込む

2024年1月1日～2024年12月31日 単位：億円

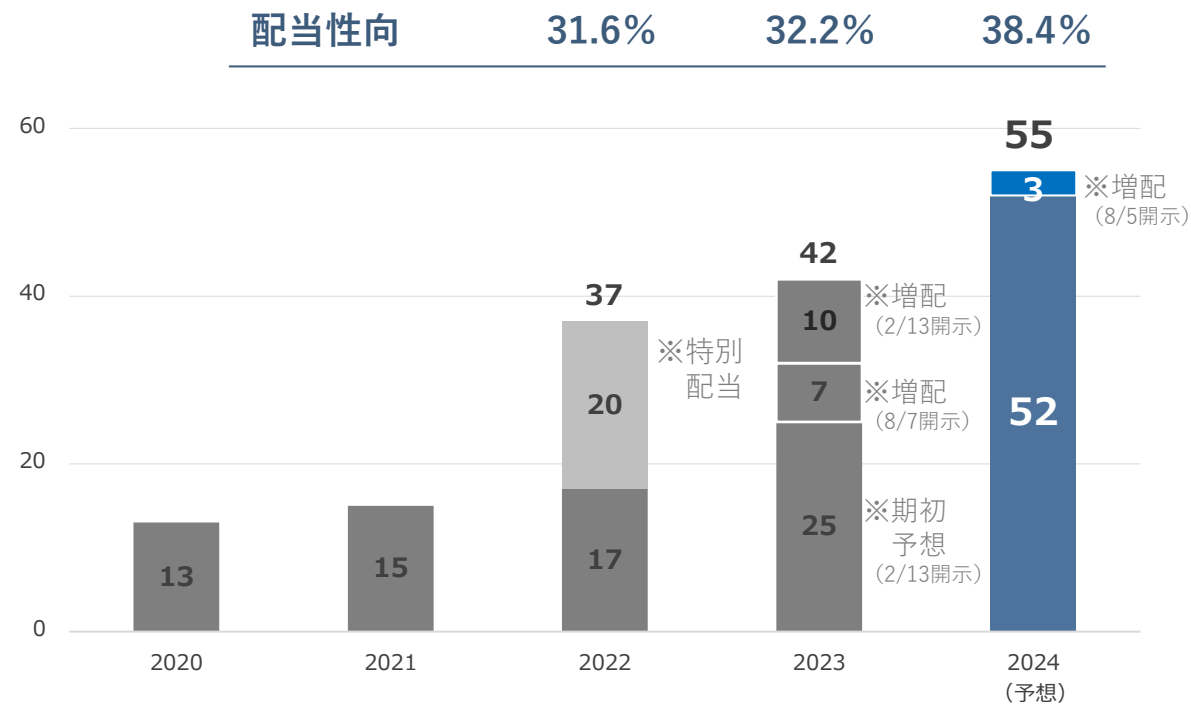
【 連結 】	2023年12月期 実績	2024年12月期 予想	増減	
			金額	増加率
売上高	1,329	1,375	+45	+3.4%
営業利益	85	100	+14	+17.3%
経常利益	85	100	+14	+16.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	59	70	+10	+18.5%
〔営業利益率〕	〔6.4%〕	〔7.3%〕	—	+0.9pts
【 セグメント 】	2023年12月期 実績	2024年12月期 予想	増減	
			金額	増加率
ワークプレイス事業	売上高	942	+47	+5.0%
	営業利益	61	+18	+30.5%
	〔営業利益率〕	〔6.5%〕	〔8.1%〕	—
設備機器・パブリック事業	売上高	368	+1	+0.4%
	営業利益	19	+0	+4.9%
	〔営業利益率〕	〔5.2%〕	〔5.4%〕	—

## 株主還元方針

当社は、利益配分につきましては、経営の重点政策の一つとして認識し、会社の収益状況、内部留保の充実、今後の事業展開等を総合的かつ長期的に勘案したうえで、株主の皆様へ継続的かつ安定的に配当することとし、期末配当として年1回を行うことを基本方針としております。

今後の配分につきましては、更なる株主重視の経営を志向し、従来の安定配当に加えて連結業績を考慮するとともに、**配当性向40%を目指し**、配当政策を実施してまいります。また、内部留保につきましては、企業価値の向上を図るために、将来の成長に不可欠な研究開発や成長分野への戦略的な投資を中心に効率的に活用してまいります。

## 1株当たり年間配当金（円）の推移

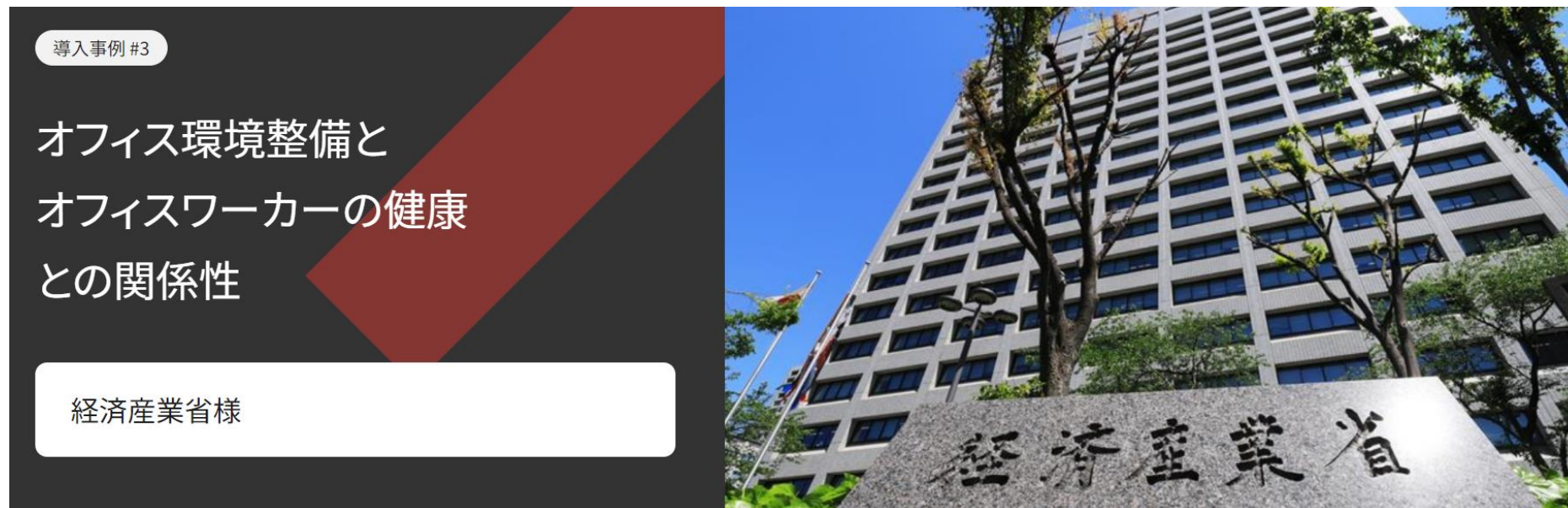


A photograph of a modern interior space, likely a cafe or office lounge. In the foreground, there is a long, light-colored wooden counter with a dark metal railing. To the right, a staircase with light-colored steps and a wooden wall on the side leads upwards. In the background, there is a dining area with several tables and chairs, and large windows with blinds. The ceiling is white with recessed lighting. The overall atmosphere is bright and clean.

# APPENDIX

## 経済産業省ヘルスケアユニットの「Data Trekking」導入事例を公開

2024年2月に提供を開始したオフィスデータ分析サービス「Data Trekking（データトレッキング）」の導入先として、経済産業省ヘルスケアユニットの事例を公開しました。また、ワークスペースの刷新を含めたオフィスの移転前後で職員の健康や生産性に与える影響をデータ分析で可視化し、特に職員の健康面のパフォーマンススコアが向上したことをお知らせします。



事例公開URL : <https://www.itoki.jp/special/data-trekking/case-studies/keizaisangyosho/index.html>

## 防災・防衛等を想定し、地下シェルター向け特殊扉を開発

～部品調達および組み立てを全て日本国内で完結し、世界基準をリードする耐衝撃・気密水密・放射線遮蔽性能を実現～

### BOUNCEBACK (バウンスバック)



開発した地下シェルター向け特殊扉（日本核シェルター協会モデルルームに設置）

当社は、半世紀に渡り国内の高度医療・研究施設等におよそ3,000基もの特殊扉を納入するとともに、その技術に裏付けされた確かな品質で多種多様な要求や条件に対応してまいりました。

本開発と並行して、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が立ち上げた、産・学・官・民による「災害大国日本における有事に備えた地下シェルターに求められる性能・仕様の在り方検討ワーキンググループ」の企業委員に特殊扉メーカーとして唯一選出。日本におけるシェルターの性能・仕様のあるべき姿の原案策定に参画するとともに、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が唯一の認証機関である「レジリエンス認証」を取得しています。

## 調剤薬局向け薬剤自動ピッキングシステム「DAP with MediMonitor」を2025年4月より発売 ～薬剤ピッキング業務の過誤防止と薬剤師の人手不足解消に貢献～

### ■ 製品の使用イメージ

レセプトコンピューター（※）にデータを入力するだけで、該当の薬剤トレイが自動で運搬され、入出庫口から取り出すことが出来ます。  
入出庫口は8つ備わっており、複数の薬剤の同時監査が可能です。

※レセプトコンピューター（レセコン）：診療報酬明細書（レセプト）を自動作成するシステムやソフトウェア



### ■ 使用の流れイメージ



レセコンにデータを入力すると該当の薬剤トレイを運搬開始。処方箋情報などのレシート発行。



トレイが自動で入出庫口に到着。LEDが点滅し、ロックが解除。トレイを引き出し、薬剤取出し。



薬剤をバーコードリーダーで照合。※照合結果をブザー音とタブレットの表示にて判別。



全ての監査が終わると、判定結果のレシートが発行。



作業中も次のトレイを運搬し、待ち時間を短縮。  
(8個まで入出庫口にストック)  
複数の薬剤の同時監査が可能。



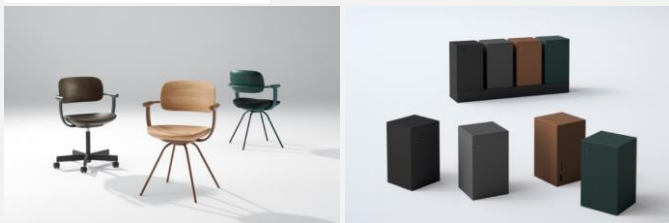
必要な数量をタブレットで確認し、薬剤をはかりに乗せて重量監査。  
※照合結果をブザー音とタブレットの表示にて判別。

「2024年度グッドデザイン賞」で7件受賞  
～ 「グッドデザイン・ベスト100」に2件が選出～

 GOOD DESIGN  
AWARD 2024



GOOD DESIGN AWARD 2024  
BEST 100



日本初のLeesman(R)+ Excellent認証を取得



世界最大のワークプレイス  
サーベイで、ITOKI TOKYO  
XORKは、Lmi 71.1（調査実  
施時点で世界57位）のスコア  
を記録し、日本初の  
Leesman(R)+ Excellent認証  
のワークプレイスとなりました。

経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得



第6回プラチナキャリア・アワードで優秀賞を受賞



三菱総合研究所と三菱UFJ信  
託銀行が企画し、先進的なプ  
ラチナキャリアづくりに取り  
組んでいる企業を表彰する  
「第6回プラチナキャリア・  
アワード」で優秀賞「従業員  
エンゲージメントと専門性の  
ダブル向上」賞を受賞いたし  
ました。



## sound sofa (サウンドソファ) 片面タイプ

多くのお客様から好評いただいている、ボックス型ソファ「sound sofa」をよりコンパクトで少人数利用に適した「sound sofa片面タイプ」を新たにラインアップに追加。指向性スピーカーによるWeb会議音の最適なコントロール機能はそのままに、少人数での利用に適したサイズでオフィスのレイアウトや利用人数に合わせた組み合わせを可能にし、オープンスペースでのWeb会議環境をより快適かつ生産的なものへと向上させます。



## ディスプレイスタンドWM

壁付け施工工事が必要なく、置くだけで簡単に美しく設置でき、周辺機器の設置からケーブルマネジメントまで考慮されたデザイン性の高い壁寄せタイプのディスプレイスタンド「ディスプレイスタンドWM」を開発しました。



半円型テーブル「Panora (パノラ)」との組み合わせ

## 製品づくりの新環境配慮型基準“Eco Level”を策定し サステナブル活動を活性化

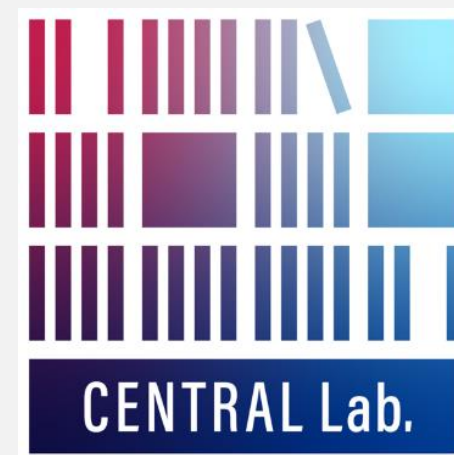
生態系へのネガティブインパクト・ゼロ社会の実現に貢献するため、「気候変動対応」・「資源循環促進」・「サステナブル素材活用」の3つのテーマを軸に、「ITOKI Ecosystem Initiative toward 2050～自然共生」を掲げ、特設Webサイトを公開しました。



特設Webサイト  
[「ITOKI Ecosystem Initiative toward 2050～自然共生」トップページ](#)

## 10年後のオフィスとモノづくりに関するビジョンを発表

イトーキ中央研究所は、10年後を見据えたオフィスとモノづくりのビジョンを発表しました。また、慶應義塾大学KGRI環デザイン&デジタルマニュファクチャリング創造センターと共同で、3Dプリンターを活用したビジョン実現のためのサステナブルな次世代オフィス家具のプロトタイプモデルを発表しました。



「CENTRAL Lab.の世界線」ビジョンムービー ([YouTubeへ遷移](#))

**<注意事項>**

- 当社の連結決算は日本会計基準を採用しております。
- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

**<IRに関するお問い合わせ>**

**株式会社イトーキ**

**コーポレートコミュニケーション統括部 IR課**

**電話:03-6910-3910**

**E-mail:itk-ir@itoki.jp**

**<https://www.itoki.jp/company/ir/>**

**明日の「働く」を、デザインする。**